

帆檣成林

—はんしょうせいりん—

「帆檣成林」とは？

帆柱が林のように多く立つ様子を表した語。人が多く出入りする活気ある「みなと」をイメージさせる言葉です。

CONTENTS

- ◆特集1 博物館資料の保存と環境問題
 - ◆特集2 平成十七年度 特別展 新潟の鮭
 - ◆特集3 旧第四銀行住吉支店の文化財登録
- 館長日記 里山の野外博物館八幡山史跡公園への期待 P.6
 収蔵資料紹介 少女買い物競争双六 P.6
 常設展示室から 「幕末の新潟町」 P.7
 おすすめの一冊 「高志の城冊—謎の古代遺跡を探る—」 P.7
 みなとぴあの人・人 No.4 守衛 P.8

P.2・3
P.4
P.5



新潟市歴史博物館
博物館ニュース

帆檣成林

Vol.4

新潟市歴史博物館の催し物

2005年10月～2006年1月

企画展	企画展関連イベント	体験プログラム
10月 新潟の鮭	2日 展示解説会	2日 語り:新潟大火
	9日 特別講演会 16日 展示解説会	22日 敷地内自然観察会 29日 こども講座
11月	6日 鮭の塩引き作り	5日 鉄づくり
	11.6 11.19	13日 ドングリ三昧 26日 こども講座
12月	4日 紙芝居をつくってみよう	17・18日 わらでつくるクリスマスリース
	11・12日 スゴロクで遊んでみよう	23日 もちつき大会
1月	7・8・9日 スゴロクをつくってみよう	
	14・15日 むかしのおもちゃをつくってみよう	
	21・22日 むかしのあそびであそんでみよう	
～9.17		～1.29

※詳細につきましては、当館HP、または下記までお問い合わせ下さい。

体験講座

「土器をつくる」(全3回)

【会場】博物館本館1階 たいけんのひろば
 【参加費】1,000円
 【定員】20人
 定員まで若干の余裕があります。ご希望の方はお問い合わせください。

【日程】

日時	内容	講師
10月15日(土) 14:00～16:00	土器についての説明 土器用の粘土作り (野焼きでも割れにくい粘土作り)	当館学芸員
10月22日(土) 14:00～16:00	土器作り (形をつくる・文様をつける・内面を磨く)	磯部 保衛氏 (古代ランド監長)
11月3日 (木・文化の日) 13:00～16:00	野焼き ※会場は大江山公園になります。 (天候により日程変更あり)	当館学芸員

次回企画展

第2回むかしの暮らし展

「あそび～こどもと時代」展

【会期】2005年11月19日(土)～1月29日(日)
 【休館日】11月21日(月)、24日(木)、28日(月)、12月5日(月)、12日(月)、19日(月)、12月26日(月)～1月3日(火)、10日(火)、16日(月)、23日(日)
 【観覧料】一般500円(団体400円) 大・高300円(団体240円) 中・小200円(団体160円)

◆詳細につきましては当館HP、または博物館までお問い合わせ下さい。
 お問い合わせ先 新潟市歴史博物館 〒951-8013 新潟市柳島町2-10 TEL.025-225-6111 FAX.025-225-6130
 URL: http://www.nchm.jp e-mail:museum@nchm.jp

みなとぴあの人・人

No.4 守衛 竹内福二郎



私たち警備員は、大きく分けて2つの仕事をしています。

1つは、通用口にある守衛室での受付の仕事です。通用口は、納入業者や工事関係者など博物館に用事のある方が大勢訪れます。通用口で入れない大きな荷物の時には、搬入口での作業となることもあります。

2つめは、巡回の仕事です。博物館本館、旧新潟税関庁舎、旧第四銀行住吉町支店とみなとぴあの敷地内を見

回ります。忘れ物や落下し物、危険な所はないか、不審な物は置いていないかなど、来館されるお客様が安全に、無事故で安心して過ごしていただく為に、万全を期して巡回しています。その他、施錠、開錠、点検業務をしています。



一度だけでなく、二度三度と来ていただけるよう、私たちも頑張っています。

郷土の歴史講座

「常設展示発見シリーズ① 初代萬代橋を見る眼」

【会場】博物館本館2階 セミナー室
 【定員】80人
 【受講料】500円
 【申し込み】往復はがき・メールで博物館へお申し込みください。締切は10月26日(必)必着。定員を超えた場合、抽選になります。

【日程】 ※題目は予定です。

日時	内容	講師
11月5日(土) 14:00～16:00	「初代萬代橋模様がわかるまで」	長谷川 伸 (当館学芸員)
11月12日(土) 14:00～16:00	「新出「新潟信濃川」図」と五姓田芳柳	泰井 良 (静岡県立美術館)
11月19日(土) 14:00～16:00	「初代萬代橋物語」	藤塚 明 (新潟市歴史文化課)
11月23日(祝) 14:00～16:00	「初代萬代橋親柱の保存修理」	山田 哲也 (元興寺文化財研究所)
11月26日(土) 14:00～16:00	「初代萬代橋の架橋技術」	波多野 純 (日本工業大学、 万代橋模型監修者)

編集後記

「帆檣成林」第4号、いかがでしたか。今号は、資料のくん蒸、特別展「新潟の鮭」、旧第四銀行住吉町支店について、特集3本立てとなりました。秋の夜長に、じっくりと読んでいただけたらと思います。

秋、そして新潟といえば鮭ですが、「新潟の鮭」展も始まりました。夜はライトアップと月明かりで、昼とは違った幻想的な博物館の姿を見ることが出来ます。博物館の敷地にも、ドングリが落ち始め、草木が色づき始めています。秋のみなとぴあにも、ぜひおいで下さい。(土田)